

2023 年度（令和 5 年度） 事業報告書

当会が 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに実施した事業についてご報告致します。引き続き、潤いのある地域環境づくりに向けて、一般市民や行政の方々と共に、桜の名所づくりや花のまちづくりなどの事業を展開致しました。

1. 桜苗木の生産・配布による桜の名所づくりや桜苗木の受託生産と育苗、花や緑を活かした花のまちづくりなどの推進（国土緑化）

1) 桜の名所づくり

①桜苗木の生産と配布

美しく潤いのある地域環境づくりの推進を目的に、桜苗木の生産と配布を継続し、地元行政や地域住民と一体となった新しい桜の名所づくりを進めました。特に、桜苗木の配布に当っては、植栽面積や植栽間隔が充分確保されているか、植栽後の維持や管理体制が明確になっているか、などについて確認したうえで実施しました。引き続き自治体や地域住民と一体となって、桜の名所づくりを支援していきます。

②さくらコンシェルジュ

新しい桜の名所をつくりたい、自分達で植栽した桜を健全に育て新しい名所にしたい、あるいは既存の桜の名所を守り後世に伝えたい、といった地域住民団体等の要望に積極的に応えるため、当会研究員を計画的に現地へ派遣しました。埼玉県久喜市、千葉県鋸南町において、住民団体の皆さんと一緒に、桜の育成・再生・保全活動を展開しました。今後も計画的に現地に出向き、支援を行っていきます。

③桜を通じた災害復興支援

桜を通じた災害復興支援は 13 年目となり、これまでに累計 7,000 本以上の桜苗木を無償で提供するとともに、品種の選定や復興計画の進捗に合せた植樹、植栽後の剪定・保全管理などの技術指導を行っています。

東日本大震災の被災地では、宮城県女川町、宮城県石巻市、宮城県仙台市などで、座学講座や接木講座、植栽の指導等を行ってきましたが、いずれも当会研究員による定期的な訪問指導は終了し、先方の要望に応じて適宜アドバイス等を行う段階に移行しています。

2019 年に台風の被害を受けた千葉県鋸南町では、昨年度も講習会や技術指導を行い、支援を継続しています。

2) 桜苗木の受託生産と育苗

地方自治体、団体や個人等から委託を受けて、その地域に由来のある桜や地元で愛されている桜の苗木を、接木により生産・育苗し、貴重な桜の後継樹の育成を支援するとともに、桜の名所づくりを推進しています。

2023 年度は、静岡県三島市の国立遺伝学研究所、兵庫県淡路市の淡路海峡公園管理センター、長野県伊那市などから生産委託を受けました。また、淡路海峡公園管理センターなど、2022 年度に委託を受けた団体、個人向けに 165 本の苗木を生産し納入しました。

3) 花のまちづくり

花のまちづくりは、単に花壇を作ったり街路を花で飾ったりすることにとどまらず、「花が持つ力」を活かして、花や緑でよりよい生活環境を作り、いきいきとしたまちにしていく活動です。

静岡県熱海市からは、「熱海花のまちづくり」計画に関連する事業を引き続き受託しました。海岸沿いのジャカランダ遊歩道内の花壇や市庁舎前の花壇など、公共花壇でのボランティア団体への植付指導に加え、2023 年度は、熱海桜の「糸川遊歩道」植栽改修設計業務を新たに受託し、基本計画の策定を行いました。

山口県上関町からは、「花咲く海の町・上関」推進委託事業を、引き続き受託しました。河津桜と水仙をコラボ植樹した城山歴史公園は、立派な観光資源となっています。花づくりパートナーを対象とした講習会、日本水仙の名所復活事業の指導に加え、2023 年度は、花育授業や桜守養成講習会などを新たに行いました。

2. 桜の名所づくりや花のまちづくりに関する講師派遣や講座・シンポジウム等の開催 (普及啓発)

1) 講師派遣

地方自治体や住民団体等が開催する講演や勉強会に、研究員を講師として派遣しています。

桜に関しては、埼玉県「豊田ふるさとづくり振興会」主催の講演会、千葉県「千葉県まちづくり公社」主催の桜観察会での桜ガイドなど、合計 34 回、延べ約 950 名の方々を対象に、講演や指導を行いました。

花のまちづくりに関しては、富山県「(公財) 花と緑の銀行」主催の講演会、山口県「上関町役場」主催の講習会など、合計 17 回、延べ約 880 名の方々を対象に、講演や指導を行いました。

2) 桜の保全・管理に関する普及啓発

①サクラ保全管理講座

桜の樹勢回復や病虫害対策など技術的・科学的分野、桜に関する歴史・文化等の分野、桜守等住民活動の分野に関する「サクラ保全管理講座」を、11月28日に大阪府大阪市の国民会館で開催しました。

今回は、①「東北地方の野生の桜」について当会桜の名所づくりアドバイザー：高階道子氏に、②「桜の園芸文化史」について千葉大学大学院客員教授：賀来宏和氏に、③「大阪造幣局『桜の通り抜け』の歴史と管理」について独立行政法人造幣局：池内信介氏・渡邊秀勝氏に、それぞれご講義頂きました。

樹木医や桜愛好家など52名が会場で、100名がWeb配信で受講されました。

②全国さくらシンポジウムの開催

桜の維持保全活動推進、桜に対する住民意識の喚起、NPOやボランティアのモラルアップ等を目的に、第43回全国さくらシンポジウムを2023年4月6日、7日に埼玉県熊谷市で開催しました。1日目は、市民協働「熊谷の力」事務局長：岡部幸夫氏、「桜ファンクラブ」会長：横田透氏による活動事例報告、ゴルゴ松本氏による記念講演および交流会、2日目は、万平公園や熊谷桜堤など桜名所の見学会を実施し、388名の方に参加頂きました。本年度は4月に茨城県桜川市で、来年度は岐阜県恵那市で開催する予定です。

③学び舎の桜プロジェクト

学校にある桜に触れる原体験を通して、桜への興味や関心を深めてもらい、将来、桜保全や樹勢回復等桜を守る活動に携わってもらえる人材を育成することを目的に、小学校児童や中学・高校生を対象に、桜授業や樹勢回復の指導を行っています。

2023年度も、2010年から活動している福井県福井市春山小学校、2011年から活動している埼玉県日高市立高麗川小学校などで、引き続き活動を行いました。

3) 花のまちづくりの普及啓発

①全国花のまちづくりコンクールの実施

1990年に開催された「国際花と緑の博覧会」の基本理念“人間と自然の共生”を継承・発展させる事業として、1991年から毎年「全国花のまちづくりコンクール」を実施し、花の社会性（花が社会に及ぼすプラスの影響）の向上を目指し、優れた花のまちづくり活動（地域の環境づくり・コミュニティ形成に貢献する活動）を表彰しています。

国際花と緑の博覧会協会、都市緑化機構、日本花普及センターと当会で構成される花のまちづくりコンクール推進協議会が主催し、当会が事務局として運営しています。昨年度も、第 32 回全国花のまちづくりコンクールの事務局として、質的充実を図ると同時に効率的な運営に努めました。

大臣賞受賞者については、その活動内容がわかる資料や動画をホームページで掲載して幅広く紹介しています。また、2020 年度より中断していた表彰式を、2023 年 10 月 31 日に東京の法曹会館で開催しました。

②全国花のまちづくり地方大会

全国花のまちづくりコンクールの関連イベントとして、花のまちづくりの普及啓発を目的に、花のまちづくりコンクール推進協議会が自治体と共同で毎年開催する「全国花のまちづくり地方大会」に、事務局として参画しています。

2023 年度は、第 28 回全国花のまちづくり浜松大会を、5 月 27 日、28 日に静岡県浜松市で開催しました。1 日目は、浜松いわた信用金庫：米澤浩祐氏・天竜浜名湖鉄道：伊藤文俊氏、浜名湖オープンガーデンの会：佐野与志照氏・佐野恵美子氏、浜名湖ガーデンツーリズム推進協議会会長：塚本こなみ氏による事例発表、イングリッシュガーデニングデザイナー：吉谷桂子氏による基調講演および交流会、2 日目には、天竜二俣駅、ばらの都苑などの現地見学会が行われ、671 名の方に参加頂きました。また、本年 5 月には第 30 回大会を石川県小松市で開催しました。来年度以降も継続して開催していきます。

③「こまつの杜」（石川県小松市）での花育

2015 年から、石川県小松市にあるこまつの杜で行っている花育活動に、当会職員が講師として参加しています。

2023 年度も、小松市内の認定こども園と幼稚園、計 5 ヶ所の園児約 150 名を対象に実施しました。また、園の先生を対象としたフォローアップや小松駅前道路に新設された「ナチュラルガーデン」での園児との植込作業等新たな活動も開始し、全国花のまちづくり小松大会への参画にも協力しました。

子供たちが自ら「育てる楽しさ、花咲くよろこび」を感じられるよう、コマツ OB/OG のボランティアスタッフの皆さんや、「わくわくコマツ館」の職員の皆さん、小松市職員の皆さんと日頃から連携し、活動を継続していきます。

4) 屋上緑化

ビル屋上の緑化事業として実施してきた、コマツビル屋上庭園の維持管理については、コマツビル建て替えに伴い、2023 年 12 月をもって一旦終了しました。

八重紅枝垂など、屋上庭園の植物は、可能な限り当会結城農場に移植し、2026 年末完成予定の新コマツビル屋上庭園への復植を目指して、維持管理を行っています。

3. 桜の品種特性や樹勢回復についての研究、桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導 (試験研究)

1) 自主研究

①桜の品種特性に関する調査研究

桜見本園で収集保存している約 400 品種の桜について、品種特性の画像データ化やホームページ等での情報公開を進め、多様性のある桜に対する世間一般の認識向上に努めています。

②桜の樹勢回復に関する研究

結城農場に隣接する桜見本園の桜を利用した樹勢回復の試験研究を継続し、全国各地の桜の保全に活用できるよう、引き続き技術力向上に努めています。

2) 受託研究

①桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導

桜の名所づくりや樹勢回復に関する事業を自治体等から受託して調査研究を行い、剪定、病虫害駆除、施肥など、樹勢回復の提言と指導を行っています。

- ・山梨県富士吉田市：新倉山浅間公園 桜の樹勢回復工事
- ・群馬県藤岡市：国指定天然記念物 三波川（サクラ）の樹勢回復作業
- ・長野県須坂市：臥竜公園での桜の樹勢回復指導
- ・埼玉県幸手市：県営権現堂公園での桜の樹勢回復作業

期末後援会員数（2024 年 3 月 31 日現在）

法人会員：264 個人会員：1,207 合計：1,471

以上